

憲法しんぶん 速報版

発行 憲法改悪阻止各界連絡会議 (憲法会議)

Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp
ホームページ http://www.kenpoukaigi.gr.jp

TEL03-3261-9007
FAX03-3261-5453

2024年12月5日(木)

NO. 1535号

本号3頁

保険証残そう 東京・両国 医師ら宣伝

現行の健康保険証の新規発行停止が目前に迫った1日、全国保険医団体連合会（保団連）は、東京都墨田区のJR両国駅前で、宣伝を行いました。医師・歯科医師らが白衣を着て、国民の多くが望んでいない中でマイナ保険証を推進することに疑問の声が上がっていると、「保険証を残そう」と訴えました。

保団連の竹田智雄会長は、同団体が実施したマイナ保険証に関する調査で、トラブルがあったと答えた医療機関が7割に上っていることを紹介。「トラブルの多くはシステムの根幹にかかわるものだ。マイナ保険証の対応に困難を抱える現場からは不安の声が尽きない」と指摘した上で、新規発行が停止する2日以降も現行の保険証は使えると強調し、「いのちと健康を守るためにも、保険証を残して」と訴えました。

リレートークでは、「保険証の新規発行停止は国民皆保険制度の根幹にかかわる」（小児科医）や「今まで使ってきた健康保険証は有効期限まで使えるので絶対に捨てないで」（歯科医）などの声が上がりました。

2日、健康保険証の新規発行を停止 マイナ保険証へ移行本格化

マイナンバーカードに健康保険証の機能を持つ「マイナ保険証」の利用を基本とする仕組みに移行するため、健康保険証の新規の発行は、2日から停止されました。発行が停止された後も既存の保険証は、有効期限内であれば、2025年12月1日まで使えます。また、マイナンバーカードを作っていない人やマイナ保険証の利用登録をしていない人には、期限までに保険証の代わりになる「資格確認書」が届きます。マイナ保険証の利用率は、2024年10月時点で15%程度にとどまっています。政府は、マイナ保険証に対する国民の不安を払拭し、利用促進につなげられるかが課題となっています。

齋藤知事を公選法違反容疑で告発 上脇教授と元特捜検事

兵庫県の齋藤元彦知事が知事選で、西宮市のPR会社社長の女性に違法に報酬を支払ったなどとして、上脇博之神戸学院大学教授と、元東京地検特捜部検事の郷原信郎弁護士（第一東京弁護士会）が2日、齋藤氏と同社社長に対する公選法違反（買収、被買収）容疑の告発状を1日付で神戸地検と兵庫県警に郵送したと明らかにしました。同日オンラインで会見を開きました。同社社長が選挙後、齋藤氏の「広報全般を任された」とブログに投稿し、同法違反などの可能性が指摘されていました。

公選法は有権者や運動員に対し、金銭や物品のほか、財産上の利益、職務を供与することを禁じています。また告発状によると、総務省はサイトでの解説で、インターネットを使った選挙運動を主体的・裁量的に企画立案した業者への報酬の支払いは買収となる恐れが高いとしています。

告発状によると、齋藤氏側がポスター制作など5項目の業務に対し、計71万5千円を同社に支払ったことについて、ブログにあった交流サイト（SNS）運用や広報戦略も「5項目の業務と切り離すことができない」と指摘。「ネットを利用した選挙運動に該当することが明らか」としています。

齋藤知事は11月25日の会見で、同社社長は「（選挙運動に）ボランティアとして個人で参加されたと認識している」と説明。代理人弁護士もブログの内容について「記事は事実と全く事実でない部分がある」とし、いずれも違法性はないと説明していました。

神戸学院大学 上脇博之教授：女性社長のnote（コラム）を拝見して、どう考えても選挙に、“主体的に”かつ“裁量のある”戦略的なPR活動を行ったことは明らか。買収・被買収罪が成立する。

郷原信郎弁護士:SNS 広報戦略など、全般的に依頼していたことは疑いがない。その対価として5項目を一応“名目”にして71万5000円を支払っていた。『一部は有償で、業務としてやってもらった』。『多くはボランティアでやってもらった』という説明は、通らないのではないか。

兵庫県 斎藤元彦知事:詳細は承知していません。いずれにしてもその件は、公職選挙法に違反しないと認識している。代理人弁護士に対応をお願いしています。

首相、「企業団体献金不適切でない」衆院選後初の代表質問

石破茂首相の所信表明演説に対する各党代表質問が2日午後、衆院本会議で始まり、与党が過半数割れとなった10月の衆院選後、初となる本格論戦。立憲民主党の野田佳彦代表は、自民党派閥裏金事件を受けた政治資金規正法再改正に関し「年内にも実現しなければいけない」と迫り、攻勢を強めました。首相は野党の協力を得ながら、規正法再改正や、経済対策の裏付けとなる2024年度補正予算案の早期成立を目指しています。

野田氏は、企業・団体献金は禁止すべきだと認識を示し「なぜ議論の俎上に載せようとしなかったのか」と首相の対応を批判。首相は企業・団体献金について「自民党としては不適切だと考えていない」と答弁しました。

野田氏は使途公開不要な政策活動費を巡り、外交の秘密などを理由に非公表の支出を温存しようとしている姿勢を問題視し、全廃を要求しました。

外交では、首相と中国の習近平国家主席による11月の会談やロシアと北朝鮮の軍事協力、経済対策に関しては能登半島地震の復興策や物価高対応について追及しました。

首相 来年の参院選での党公認基準統一する考え示す

石破首相（自民党総裁）は3日午前の参院代表質問で、自民党派閥の政治資金規正法違反事件を巡り、来年の参院選での党公認について、「(衆院選と)違う対応を行うことは現時点では考えていない」と述べ、公認基準を統一する考えを示しました。

自民は10月の衆院選で、政治資金収支報告書に不記載があった議員と選挙区支部長計12人を非公認としました。政治倫理審査会への出席の有無も公認判断基準の一つとされることから、自民の参院議員では、来夏に改選を迎える議員を含む27人が政倫審への出席を希望しています。

JNNの世論調査 「企業・団体献金の禁止」を法案に盛り込むべき64%

自民党の裏金事件を受け、石破総理が年内の再改正をめざす政治資金規正法について、「企業・団体献金の禁止」を法案に盛り込むべきと考えている人が64%にのぼることが最新のJNNの世論調査でわかりました。

石破内閣を支持できるという人は前回の調査から3.2ポイント上昇し、42.1%、支持できないという人は4.9ポイント下落し、52.4%でした。

次に国民民主党が訴えている年収「103万円の壁」の見直しについて。国民民主の主張通り、これを178万円に引き上げた場合、政府は国と地方で7.6兆円程度の減収になると試算するなど、問題があることも指摘されています。この「103万円の壁」を引き上げることに、▼「賛成」と答えた人は61%、▼「反対」は17%でした。

国会前で「希望忘れない」と澤地氏ら訴え 3の日行動

全国各地で今月も元気に3の日行動が行われました。

国会前では、政治に対する思いを込めたプラカードや横断幕を一斉に掲げる毎月恒例のスタンディング行動が同日、国会正門前でありました。

国会で石破茂政権に対する本格論戦が始まるなか、約150人が参加し、国会議事堂に向かって「戦争反対 9条守れ」「消費税の引き下げを」「原発廃炉」などの意思を示しました。

戦争のない世界をつくるために参加したという70代の女性＝横浜市＝は「イスラエルのガザ侵略を止めたい。同国製の兵器を購入する日本政府の態度は許せません」と憤りをあらわにしました。

作家の澤地久枝さんの講演の視聴をきっかけに行動に参加した85歳の女性＝東京都多摩市＝は「戦前、戦中の食糧難を繰り返してはいけない」と強調。裏金事件の真相究明や企業・団体献金の全

面禁止に背を向ける自民党が「改憲、軍拡のたくらみなどもってのほか。すぐに議員を辞めてほしい」と語りました。

コメディアンの松元ヒロさんが笑いを取りながら、自民党政治の転換を訴えました。

澤地さんは、「政治が悪くなっているが、笑いと希望を忘れてはいけない」と強調。「憲法を持つ日本は、他国に戦争を仕掛けたり、軍事同盟を結ばずに頑張る国だということを確認したい」と訴えると、参加者から大きな拍手が起こりました。

憲法会議 60 周年記念「次代につなげ、憲法トーク」

憲法会議は 2025 年 3 月に結成 60 周年を迎えます。現在、60 周年記念行事を企画しているところですが、行事の一つとして、憲法運動を次世代につなげ、次の 60 年に向けて発展させるきっかけが作れるよう、青年層を対象としたオンライン企画「次代につなげ、憲法トーク」を開催することとしました。

青年たちとともに憲法を議論し、みんなで学ぶ企画にしたいと思いますので、青年の皆様、是非ご参加ください。また、各団体で参加者募集に御協力いただきますようお願いいたします。

(1) 企画内容

憲法会議を構成する各団体の青年層（概ね 35 歳ぐらいまで）から毎回 5~6 名程度の参加者を集め、以下のとおり、オンライン（Zoom ミーティング）でトーク会を 3 回実施し、その様子を編集した動画を 1~3 月の期間、月 1 回のペースで YouTube 配信（公開）します。

第 1 回 1 月配信 「檻の中にいるのは誰？」 テーマ：国民主権

「国民主権」ってどういうこと？／憲法は法律と同じ？／なぜ、公務員の憲法尊重擁護義務があるの？／選挙の投票に行かなければならないのはなぜ？

⇒ 憲法は権力を縛る、政治は国民のためにあり、国民参加が重要

第 2 回 2 月配信 「みんなちがって、みんないい」 テーマ：基本的人権の尊重

権利を主張するってわがまま？／大事にするから、大事にされる／みんなの幸福のために国がしなければならぬことは？／自分らしさを大切にしたいから…

⇒ 憲法は、すべての人が個人として尊重される社会をめざすもの

第 3 回 3 月配信 「やっぱり平和が大切」 テーマ：平和主義

日本国憲法はどうしてできた？／「戦争をしない」ってどういう意味？／平和に生きる権利って？／でも、攻められたらどうするの？／世界は平和を求めている

⇒ 戦争の経験を踏まえてできた憲法は、平和な国を作ることが柱になっている

(2) 参加者の募集

- ① 収録は 1 月中旬~3 月中旬で行います。収録日に Zoom ミーティングで参加いただき、打合せの後、各回のテーマに沿って約 1 時間程度のトーク会を実施します。その様子を録音して 30~40 分の動画に編集し、後日 YouTube で配信（公開）します。

収録日は、参加者が概ね集まった段階で日程調整をして決めることとします（平日の夜か、土日を想定しています）。

- ② 公開する動画は、問題がないかどうか、参加者のみなさんに事前に確認していただきます。可能であれば顔出し（仮名でも可）での参加をお願いしたいと思っておりますが、難しい場合はプロフィール画像の活用などについて、ご相談させていただきます。

60 年記念して憲法ポスターやイラストを募集し、それで新しいポスターを作ろうとの企画も検討中。募集ポスター案

